非戦を選ぶ演劇人の会　vol.15

私の村から戦争が始まる

～沖縄やんばる・高江の人々が守ろうとするもの～

作　清水弥生

瀬戸山美咲

坂手洋二

●カメと少女

【１】

ミサキ　アスファルトの道の先に何かまるっこい塊が見えた。目をこらすと、それはカメだった。道の真ん中でじっと動かないカメ。よく見ると、カメの足には虫がへばりついていた。

【２】

ピコ　こらー！　ダニめー！

【３】

ミサキ　振り返ると小学校中学年くらいの女の子が立っていた。ダニ？

【４】

ピコ　ダニが血吸ってんの！　こら！　こら！

【５】

ミサキ　女の子の名前はピコと言った。ピコはカメに駆け寄ると、カメの足から思いっきりダニを引っぺがした。

【６】

ピコ　よし！

【７】

ミサキ　引っぺがしたダニからカメの赤黒い血がしたたっている。うわあ……。

【８】

ピコ　（カメに）大丈夫ですか！　意識はありますか？　冬眠から目が覚めたんですね。ただちに搬送いたします！

【９】

ミサキ　そう言うとピコはカメを持ち上げ、道のわきのしげみに入って行った。ちょっと待って！　そこは！

【10】

ピコ　何？

【11】

ミサキ　――そこは、米軍基地だった。

ヘリコプターの轟音。

●高江に行くまで

【12】

ヤヨイ　ミサキさんも行ってみます？

【13】

ミサキ　高江に行ってみないか、と言われたのは、１月の終わり。誘われて「非戦を選ぶ演劇人の会」の会合に初めて顔を出したときだった。

【14】

ヤヨイ　沖縄の北部に、高江という集落があるんです。

【15】

ミサキ　劇作家仲間のヤヨイちゃんは去年の七月に、その高江という集落に取材に行った。ヤヨイちゃんいわく、高江では、米軍のヘリパッドを建設する予定があるらしい。ヘリパッドっていうのは、大きいヘリが離着陸する場所？　のことらしい。

【16】

ヤヨイ　その建設に反対して、住民の人たちがもう四年以上座り込んでいるんですよ。

【17】

ミサキ　四年……え、四年？

【18】

ヤヨイ　一緒に行ってみませんか。

【19】

ミサキ　うん。気がついたら私はうなずいていた。でもいざ高江への行き方を調べてみて、あまりの遠さに気が遠くなった。那覇からバスを乗り継いで３時間はかかる。家にあったガイドブックの地図には高江の地名すら載っていなかった。グーグルマップで調べても、高江のある北部の東側は、拡大ができない。まわりが全部基地だから、地図上のほとんどの部分が空白なのだ。

【20】

ヤヨイ　ミサキさんと高江に行く七ヵ月前の去年の七月、私はひとりで高江に行きました。そのさらに五ヵ月前に高江へ行った女優の円城寺あやさんから、話を聞いたのがきっかけでした。

●円城寺さんの話

【21】

あや　私が高江に行ったのは、二〇一一年、二月の下旬、座り込みの攻防が激化しているときでした。ネットの情報で大変なことが起こっているのは知っていました。基地の問題に関心はありましたが、自分が座り込みに行くなんて思いもしませんでした。きっかけはその前に座り込みに参加していた劇作家の坂手さんに現場の様子を聞いたこと。思い切って行くことを決めたのは、そこで、本当に何が起こっているか知りたかったからです。

あや、車に乗っている。

【22】

あや　（ツイッターをしている）高速なう、那覇でピックアップしてもらい、高江に向かっています。やんばるの森が見えてきました。

【23】

運転手　もうすぐ、高江の共同売店ですよ。

【24】

あや　北部演習場って、この先にあるんですか。

【25】

運転手　そう。米軍が誇るジャングル戦闘訓練センター。

【26】

あや　ベトナム戦争の対ゲリラ戦の訓練もしてたって。

【27】

運転手　そうそう。

【28】

あや　運転手さんが指す方向を見たけれど、深い森が、地平線まで続いているように見えるだけでした。

【29】

運転手　結構ヘリも激しく飛んでるよ。県道沿いじゃ、ホバリングとか離着陸の訓練とかさ、あと、ヘリで兵士を吊り下げたり、コンクリの固まりを車や榴弾砲っていう大砲に見立てて吊り下げたりしてる。兵士の叫ぶ声やら、銃撃つ音やら、たまんないよ。

【30】

あや　（ツイッターをしている）一見平和なやんばるの森は戦争のために利用されています。

【31】

運転手　じゃあ、がんばれよー。

【32】

あや　「トゥータン家」（とぅーたんやー）なう。ここはヘリパッドいらない住民の会の集会所です。集会所ではご飯を作ったり、住民の方が野菜を持って来てくれたりもします。朝、五時半座り込みポイントに向かって出発。オニギリをひとつ持ちました。

あや、Ｎ１ゲートに移動。

【33】

あや　Ｎ１（えぬわん）ゲートなう。すでに五、六人の人たちが集まっています。何をしていいかわからない座り込み初心者の私に、住民の人がキチンと指示をしてくれます。

【34】

ゲンさん　今日はネットの補強、拡張作業をやるよ。

【35】

お母さん　このネットが、Ｎ１を今まで守ってるの。民衆の知恵だね。

【36】

あや　今、防衛局側はＮ１ゲートから土嚢を入れる作業をしているのですが、住民の会の皆さんはその道路沿いに２メートル以上のネットを張って土嚢の搬入を阻止しようとしているそうです。土嚢って何が入ってるんですか？

【37】

おじい　石だね。

【38】

あや　石？

【39】

ゲンさん　一個二〇キロだよ。

【40】

あや　危ない！

【41】

おじい　このネットは農家の人が使うゴーヤーのネットなんだよ。あとね、辺野古の人が漁に使う網を作るときのやり方で編んだりもする。

【42】

あや　ネットが功を奏して、Ｎ１からの工事は全然進んでいません。お昼近くになってくると日差しも強いし、アスファルトにずっと立っているのは結構つらいです。座り込みに参加しているのは六〇代七〇代の方も結構いらっしゃいます。こういうことを三年近くも続けているなんて、考えただけで気が遠くなります。

【43】

おじい　島らっきょはね、天ぷらが一番おいしいんだよ。

【44】

あや　へえ、そうなんですか。今度やってみます。

【45】

おじい　今の子どもは、魚食べないねえ。ハンバーグとかミートボールだとか、自然にないものばかり食べているねえ。

【46】

ゲンさん　だねえ。

【47】

あや　なんだか……穏やかですね。

【48】

お母さん　こういう時に、来るんだよ。経験上。

【49】

ゲンさん　三時間ジリジリこうしてるけど、ブログだと「こう着状態」って一言で済んじゃうんだよな。

【50】

あや　Ｎ１、こう着状態。事前に読んだ、高江のブログで何度も見た言葉です。

【51】

お母さん　夜まで晴れてるといいんだけどね。高江は星がとってもきれいなんですよ。

【53】

ゲンさん　高江区長が、政府に歯向かえないって怯えて、もしヘリパットが来るなら、見返りにどう条件を出そうかってぽろっと言ったら、容認したって報道されて。

【54】

ユキネ　防衛局に抗議の電話しても、東村も高江区も、容認してますよって言われるしね。

【55】

ゲンさん　見返りは、畑をイノシシから守る垣根とか、あと公民館新しくしたり、お墓や公園の整備したりだって。

【56】

お母さん　ほんとにしてほしいのは、住宅や学校の上を飛ばない、夜間の飛行禁止、飛ぶルートをちゃんと住民に知らせること。でも、米軍がヘリパッドをどう使うかなんてことに、日本政府が口出しするわけがない。

【57】

ユキネ　そんなことわかりきってるのにねえ。

【58】

おじい　去年の１２月、Ｎ４（えぬよん）のテントが米軍のヘリの低空飛行で一部壊されたんだよ。テントの中に人いなかったから怪我人出なかったけど、あれ狙い撃ちでしょ。

【59】

円城寺　オスプレイが来ることになったら、ますます危険になりますね。

【60】

おじい　オスプレイ！　あれは化けもんだ。

【61】

お母さん　オスプレイの騒音はさ、今飛んでるヘリの騒音よりも少ないとか防衛局は言ってんだけどさ、あてにならないよねそんなこと。

【62】

ゲンさん　騒音測定を二年間やります、なんかあれば、その都度申し入れ致します、って言ってんだけど本当に申し入れするのかっていう。

【63】

お母さん　普天間飛行場が辺野古に移設されなくても、高江にヘリパッドが出来たら、やんばる全域にオスプレイが飛び交うね。軽々と一五分で来ちゃうって話だよ。

トラックが到着し、大勢の足音と叫び声。

防衛局員と作業員がやってくる。

【64】

おじい　来たぞ！

【65】

あや　一一時頃、土嚢を乗せたダンプ、作業車を含めた合計一四台が到着。防衛局・作業員が大挙してＮ１にやってきました。作業員十数名がネットの隙間から中に入り、バケツリレーで土嚢の搬入しようとしています。……うわっ、あぶない！　土嚢をダンプから住民の頭越しに投げ入れています。

【66】

おじい　作業をやめろ！

【67】

あや　作業員はみんな若い人でした。一六か一七くらいの、沖縄の人らしい顔立ちをした子ども達。作業員の後ろにいる指揮者の防衛局員は見ているだけ。実際に手を下すのは作業員、事故があったときは彼ら作業員に全て責任を押し付けるつもりでしょうか。お兄さん、止めよう！

【68】

作業員　なにするんだよ、押すな！

【69】

ユキネ　人にぶつけたら傷害罪だよ。

【70】

防衛局員１　妨害行為はやめて下さい。

【71】

あや　危ないじゃないですか！　なんで未成年にあんなことさせるんですか。怪我させたらどうするんですか！

【72】

お母さん　お兄さん、自分たちが加害者になる必要ないでしょう。

【73】

おじい　ニイニイ（兄）、無理なことやめろ！　損するぞ！　アメリカのために無理する事ないぞ！　防衛局のために無理することないぞ！

【74】

防衛局員２　工事をさせてください。

【75】

ゲンさん　（動いて逃げる防衛局員３にずっとついて歩きながら）防衛局の人たちよ、自分たちは見てるだけで、こんな若い人たち使って自分を守らせて、何にも思わないわけ。大の大人が。ねえ。

【76】

あや　作業員がダンプに乗り込んで下にいる作業員に土嚢を渡そうとしています。住民と支援者が腕を組んで阻止し、土嚢は奪ってダンプに投げ返します。ダンプの周辺は押し合いへし合いになっています。

【77】

ゲンさん　（動いて逃げる防衛局員３について歩きながら耳元で）やめさせろ！　みんな高江で生活しているんだよ！

【78】

おじい　これからだって赤ちゃんが生まれるんだよ！

【79】

ゲンさん　負担軽減って言うんなら、ヘリパッドを全部なくしなさいよ。

【80】

防衛局員３　（逃げながら）勘弁してくださいよ。

【81】

ゲンさん　（ずっと防衛局員３について歩きながら耳元で）あんた、沖縄の業者とウチナーンチュを闘わせて見ているだけか！

【82】

防衛局員３　耳元でガーガー言わなくても聞こえますから。

【83】

ユキネ　（作業員に）ねえ、どうしてこんなことするの。あなた、自分が何をしているか知っているの。防衛局はこの美しいやんばるの森を、七五メートルも切り開いてオスプレイパッドを作ろうとしてるんだよ。

【84】

作業員　……でも、職がないんすよ。

【85】

ユキネ　……もっとましな仕事、給料安くてもさ、人の生活ぶち壊さないで済む仕事をしなきゃ。さぼんなさい。なるべく、あっちの人に作業してるように見せかけてさ、時間過ぎれば給料はもらえるんだから、のろのろしてた方がいいよ、ね。

【86】

あや　それから、この少年の動きは極端に鈍くなりました。去年の二月、テレビでは中東のデモが話題になっていました。そんなとき、沖縄の高江ではこんなことが起きていた。そのことを本土のテレビや新聞はほとんど取り上げていませんでした。

●高江行き

【87】

ヤヨイ　円城寺さんのレポートを読んで、去年の７月、私は高江に行きました。そして、今度は私がミサキさんを高江に連れていく番です。

【88】

ミサキ　二〇一二年二月五日、日曜日。朝六時半の羽田発那覇行きの飛行機に乗った。レンタカーで高江に向かう。全然店ないね。

【89】

ヤヨイ　ないですね。

【90】

ミサキ　カレーの肉どうしよう。

【91】

ヤヨイ　共同売店があるはずなんですが……。

【92】

ミサキ　初めて足を踏み入れる北部の東側には、コンビニがなかった。その代わりにあったのが共同売店。そこには最低限の日用品や食品が並んでいた。肉ー肉ー……。

【93】

ヤヨイ　ありました！　冷凍だけど！

【94】

ミサキ　暗くなってきた頃、私たちはトゥータン家（とぅーたんやー）と呼ばれる「ヘリパッドいらない住民の会」の事務所に到着した。

【95】

ヤヨイ　（鍋を覗いて）おおー！　おいしそう！

【96】

ミサキ　この夜はすでに食事が用意されていた。一緒に座り込みに参加するメンバーが作っくれた鳥と野菜たっぷりの汁。住民の会の森岡尚子さんが持って来てくれた大量のふかしたじゃがいも。それとハーブとオイルで作ったソース、島ラッキョウ。ご飯を食べて、私は心の底からほっとした。私は去年一年東京で疲れ果てていた。食べものにしても飲み水にしても、いつもどこかで放射能のことを気にしていた。でも、ここはそういうものから解き放たれている。

三線の演奏が始まる。

【97】

ミサキ　トゥータン屋にはいろんな人がいた。住民の会の人、那覇から支援に来ている人、東京から支援に来ている人……。二十代から六十代まで年齢はバラバラ。食事が終わると三線やギターでミニライブが始まった。

出演者、楽器を弾き歌を披露。

【98】

ミサキ　ライブは１２時過ぎまで続いた。

【99】

ヤヨイ　翌日八時四五分、私たちは座り込みをするため、Ｎ１ゲートへ向かった。あれ？　ミサキさん、どこです？

【100】

ミサキ　ヤヨイちゃんが私を探している頃、私はピコと一緒に米軍基地の中へ迷い込んでいた。待って！

【101】

ピコ　ここだよ！　リュウのおうち。

【102】

ミサキ　ここって、もしかしてヘリパッドの予定地……。

【103】

ピコ　（リュウに）じゃねー。

【104】

ミサキ　ピコと一緒にカメを見送る。そして、私はアスファルトの道まで戻ってきた。

【105】

ヤヨイ　ミサキさん、どこ行ってたんですか。

【106】

ミサキ　いや、あの、カメを。

【107】

お父さん　ピコ！

【108】

ピコ　お父さん！

【109】

お父さん　どこ行ってたんだ。

【110】

ピコ　リュウがね、ダニにね、食われて、血が！

【111】

お父さん　もしかして、巣まで行ったのか。

【112】

ミサキ　すみません。止めたんですけど。

【113】

お父さん　いえいえ。

【114】

ピコ　お姉ちゃん！　お父さん、ギター弾くんだよ！

【115】

ヤヨイ　ピコのお父さんは、なんとプロのギタリストでした。日本全国でライブをしながら、高江の現状をみんなに伝える活動をしています。

【116】

お父さん　この道にはね、リュウキュウヤマガメや絶滅危惧種のノグチゲラが住んでるんだよ。

【117】

ミサキ　ここって……。

【118】

お父さん　ヘリパッド建設のためのトラックが通れるように整備しようとしているの。そもそもさ、北部の訓練場は広すぎるから、フェンスなんてつけらんなかったけど、Ｎ４（えぬよん）ゲートと、Ｎ１（えぬわん）ゲートには二〇一〇年二月からつけられて。

【119】

ヤヨイ　フェンスがなかったら、どこまでが基地かはっきりしないじゃないですか。

【120】

お父さん　そうなんだよ。米兵のほうもわけ分からない感じで、Ｎ１裏手の横の畑でライフル銃訓練してて、おばあびっくり、みたいな。県道をフル装備で行軍しちゃってたりとか。

【121】

ミサキ　あ、ハブに注意の看板。

【122】

ヤヨイ　ハブに注意しとる場合やない！

【123】

お父さん　座り始めた頃は全部のゲートを見張ってたんだけど、農道やダムの上の道は大型車両が走れないってわかってきた。だから今はＮ４を中心に座り込んでるんだよ。

【124】

ミサキ　なんで高江に新しくヘリパッドが出来る計画があるんですか。

【125】

お父さん　ＳＡＣＯ合意のせい。

【126】

ミサキ　さこごうい？

【127】

お父さん　一九九五年に北部の村に住む小学六年生の女の子が、アメリカ兵三人に乱暴されるという事件があったのは知ってる？

【128】

ミサキ　新聞で読んだことあります。

【129】

お父さん　それに抗議して、県民大会に八万五千人の人たちが集まった。そういう県民の怒りを汲んで、日米の政府は「沖縄における施設及び区域に関する特別行動委員会」通称ＳＡＣＯっていうのを設置したんだ。防衛局長たちは工事説明会でこう言ってた。

【130】

防衛局員１　ええ、と、一九九六年、ＳＡＣＯ合意で、普天間基地を返還することと、この北部訓練場の一部返還が提示されました。七八三三ヘクタールあるうちの、三九八七ヘクタールの土地を返還する計画です。

【131】

防衛局員２　ヘリパッド移設によりまして、とくに高江区の住民の皆さんには騒音とか危険性とかいうご負担をお願いするかと思います。

【132】

防衛局長真部（防衛局３）　局長の真部（まなべ）です。今、沖縄全土でも一八パーセントある基地の負担が、一四パーセントにということであればですね、それはやはり、負担の軽減、県民負担の軽減という風になると、私どもは考えております。

【133】

ゲンさん　返還部分にあったヘリパッドを移設する、つまり新たに六個のヘリパッドを別の場所に建てる。こういう条件ですか。

【134】

お父さん　その新たな建設地が、高江だった。

【135】

お母さん　北部訓練場にはすでに二十二個のヘリパッドがあるじゃないですか。返還されたとしても一五個のヘリパッドは残るんです。それなのにまた新しくヘリパッドを作ろうとしてる。今度のヘリパッドは、高江の集落を囲むように建つことになってる……。

【136】

ユキネ　うちから三百メートルのところなんですよ。

【137】

ゲンさん　どのくらいの数のヘリが飛ぶんですか。

【138】

イサ　ヘリの飛ぶ飛行ルートとかはどうなってるんですか。どんな機種が飛ぶんですか。

【139】

ユキネ　何時まで飛ぶんですか。

【140】

防衛局員４　米軍の運用に関して、日本側は関知できません。

【141】

ゲン　自然環境ではなくて、高江の住民への生活環境への影響に関する説明会はないんですか。

【142】

防衛局員２　そういうことはする予定はないですねえ。

防衛局員達、去る。

【143】

お父さん　そのまま工事の計画だけ進められていって。それで、決めたんだ。座り込みしようって。じゃあ、やりますかって。

【144】

ヤヨイ　その頃のこと、教えてもらえませんか。

●お母さんたちの記録

【145】

お母さん　二〇〇七年六月三〇日。ほんのついこの間まで「座り込みなんて、無理無理。人数いないし。ホント無理。絶対無理。できるわけないじゃん。」なんて言っていたのに、あっという間に、やらざるをえない状態になっているのでした。出来るのか、続けられるのか、自分達の生活はどうなるのか、高江の他の区民に理解してもらえるんだろうか、気持ちがパンパンになっています。

【146】

ユキネ　とにかく、始めてみること。

【147】

ゲンさん　七月二日月曜日朝八時から、私たちは座り込みを始めます。

【148】

ユキネ　高江に来て座り込みを手伝ってください。お願いします。

【149】

イサ　始めてみないとわからないことだらけですが、少しずつ改善していきますのでよろしくお願いします。

【150】

ピコ　みんなー！　高江に来てー！

【151】

お父さん　緊急の電話掛けや、インターネットを通じて、全国に呼び掛けました。そして、人数の少ないなかで、二四時間交代体制の座り込みが始まりました。

【152】

お母さん　七月四日、やっと自分の置かれている状況が落ち着いてみれるようになってきました。把握までは、まだいってません。この暑い中、朝五時からひたすら座っているのはかなりしんどいです。しかし、いざ、というとき以外は結構ヒマなのです。女性陣でここで出来そうなことをいろいろ考えました。

【153】

ユキネ　麻ひも持ってこようか。それでカゴ編んだり。

【154】

ナオコ　編むならアクリルたわしもいいよね。

【155】

おばあ　この陽射しだったら、干物を作るとかさ。海水持ってきて塩も作れるよ。

【156】

お母さん　とりあえず、今日は家から洗った洗濯物を持ってきて、昨日、防衛局が作っていったＮ４地区の柵に干しました。

【157】

お父さん　七月五日には、座り込み保育園ができました。

【158】

ナオコ　今日は高江のニューフェース、生後一ヶ月過ぎのたっくんを筆頭に高江自主保育チームが午前中Ｎ４地区に集合。座り込みのござの上はあっという間に保育園と化したのでした。とにかく人が足らないのでお母さんや子どもたちも出動です。

【159】

ユキネ　高江には小中学校が一つ。小学生九名、中学生四名の計一三名の生徒が通っています。

【160】

ナオコ　子供のいないお家も学校行事に参加します。地域みんながＰＴＡなんです。

【161】

ピコ　七月九日。

【162】

お母さん　またもや七時前から集合がかかり、ねぼけてて日焼け止めもつけずに出かけてしまいました。戦闘訓練センターのゲート前で防衛局の人らとの問答が昼前までの長時間続き、非常に緊張しました。おまけにその間カンカン照りの中、ゲート前のコンクリの上で座り込み、私は頭の中も体もあっつあつになってちょっと気が遠くなりそうなところ。私よりも一〇も二〇も年上の方々がガンとして車の前に座り続け、説得しつ続ける姿は、私が今まで会ったことがない大人の姿でした。

【164】

ピコ　八月二二日。

【165】

お父さん　住民の会のイサさん。

【166】

イサ　今日も那覇防衛施設局は業者と一〇人以上で来て警告をして行きました。もう、充分話し合ったから話す必要はないそうです。環境アセスで環境には充分配慮し住民には説明会をし、県からも村からも承諾は得ているって。

【167】

桜井教授　いいですか、環境アセスというのはですね。

【168】

イサ　高江環境アセスの矛盾をつく、沖縄大学の桜井国俊教授。

【169】

桜井教授　大規模な建設事業をするまえに、その施設が作られたら、自然環境や動物にどういう影響を与えるかというのを調査したものです。それが環境アセスメントというものですね。ところが、高江のヘリパッドに関しては、県の定めた条例にのっとったアセスは不要だと、国が判断している。

【170】

イサ　国が挙げている「適用外」の理由は、滑走路、駐機場、誘導灯がない、環境への影響は大きくない、といったものなんですが。

【171】

桜井教授　一応国が自主的に調査しましたよという自主アセスメントを出してきましたが、話にならないずさんなものです。直径七五メートルのヘリパッドを作ると書いてあっても、どのように使うのか触れておらず、ヘリパッドのできた後の飛行ルート、使用する機種、騒音等、記されていません。

【172】

ピコ　八月二三日。

【173】

お父さん　農業を営むモリオカさん。

【174】

モリオカ　朝九時半頃、防衛施設局員と作業員含め四十名ほどが来ました。今日に引き続き明日も強硬姿勢で来るはずです。

【175】

お父さん　エッセイストのナオコさん。モリオカさんの奥さんです。

【176】

ナオコ　二〇〇五年から、高江の自然環境に惚れこみ、田を借り、自分たちで家を建てて、自給自足の暮らしを始めたんです。戦争にも、環境破壊にも加担しないためには、基地や原発に依存しない自給自足の暮らししかないと思っていました。でも、暮らし始めて数カ月後、高江のヘリパッド建設のことを新聞記事で見て知ったんです。すごくショックでした。

【177】

お父さん　六人の子供を持つユキネさん。

【178】

ユキネ　本当にこういう環境が素晴らしいなあと思って、こんなところで子育てしたいと思って引っ越して来たら、こういうことになってしまって、びっくりです。

【179A】

お母さん　学校に行く子供たちに味噌汁をつけていたら悲痛な電話。お玉ほおりだして、まだパジャマの末っ子の着替えを車に放り込んで、子供が車中で着替えている中、車走らせＮ４ゲートまで急ぎました。高江に住んでいても間に合いませんでした。

【179】

ピコ　九月一〇日。

【180】

お母さん　本当に先週は、「今日来るか」「今日こそ来るか」と、気を張らないようにと思いながらもひりひりした一週間でした。この「くるのか？」「こない」「くるのか？」「こない」の繰り返しってなんか身に覚えがあるなぁ、と思い返してみたら思い出しました！　陣痛でした。すいません、くだらなくって。しかし、生まれようとしているもんが悲しすぎます。

【181　蒔田】

ピコ　お母さん！

【182】

お母さん　あー！

【183】

ピコ　ヤンバルクイナ！

【184】

お母さん　今日、ついに初めて見ました！　赤いくちばしと白の縞模様もくっきりと見えました。いいものみちゃった。遭遇した道には「ヤンバルクイナに注意」の看板がいっぱい。今年はすでに二十一羽が交通事故の犠牲になっているそうです。あの走りっぷりではなあ。もう千羽もいないそうです。私は鳴き声を知りません。今年の夏休みに天然記念物のイボイモリもみつけました。

【185】

ピコ　恐竜さん。

【186】

お母さん　ピコが言う通り、小さい恐竜みたいでした。手のひらにのせてもじっとしてました。シリケンイモリにしても、あきれるぐらい動きが遅くてそこらじゅうで車に轢かれているし。やんばるの生き物たちは本当にゆっくりとした静かな森の時間で生きているんです。車が走るだけでも信じられないぐらい暴力的なのにオスプレイなんて……。

【187】

ナオコ　二〇〇八年一〇月一八日、東村の伊集盛久（いじゅせいきゅう）村長が、同村高江区で進む米軍のヘリパッドの移設工事に関連し「二割を犠牲にしてでも８割を生かした方がいい」などと述べていたことが分かりました。二割というのは高江の住民のことです。

【188】

ゲンさん　隣のおばぁは、この事を知っているかな？　いや、言えないよ。わからん方がいいかな。おばあは、戦後生きるために仕事をもとめ高江に移り住み、やんばるの木を切り過酷な労働をして、やっと生きた。高江の山や海のめぐみを食べて、今があります。アメリカ、日本政府によって犠牲にされ、今また自分たちの村長までもが。

【189】

ピコ　一一月六日。

【190】

モリオカ　今夜、東村（ひがしそん）の村長各課長が高江に来て行政懇談会があった。話し聞いて、つ・く・づ・く東村が首まで補助金漬けなのがわかった。隣の大宜味村（おおぎみそん）が基地なしで自力でやってるのに、なんで村予算の四分の三が外部予算なんだよ。赤字だらけだし。また箱もの作ろうとしてるし。そりゃ基地いらないっていえないわな。完全に、依存してるんだもん。

　　　　　　虫の声。

【191】

座り込みのおばあ　このへんは下水の設備がなくて、高江区も貧しいんですよ。ここ東村と国頭村は、電気や水道の設備がもっとも遅れて届いた場所なの。舗装道路も電話線も西海岸が先。だから国にいつも、頼みます、お願いしますっていう姿勢はあってね。わじわじするさー。

【192】

お父さん　それから、裁判が始まった。

【193】

ミサキ　裁判……？

【194】

ヤヨイ　それって……。

【195】

お父さん　国が、私たちを訴えたんです。

●裁判の話

【196】

お母さん　二〇〇八年一一月二五日、国は高江の住民一五名を訴えました。座り込みをしていることが通行妨害だとして、裁判所に仮処分を申し立てたんです。

【197】

ナオコ　しかも証拠に出されたのは、私たちが防衛局に建設中止の要請に行ったときの名簿、コメントした新聞記事、ブログの記事、ヘリパッド問題をテーマにしたイベントや写真展の資料なんかでした。

【198】

お母さん　那覇の裁判所まで半日かけて何度も足を運びました。

【199】

ナオコ　一五人のうち、二人の仮処分が決定したとの知らせがきました。

【200】

ゲンさん　私、安次嶺現達（あしみねげんたつ）ほか１５名は、いい加減な証拠で訴えられました。その中には、私の小学生の子どもも含まれていました。子どもはとても傷ついて、怯えています。私は親として、防衛局がやったことを一生忘れることができない。許すことができない。

【201】

ユキネ　夫を含め、二名についての通行妨害訴訟が始まりました。それと同時に私たちの生活はどんどん忙しく苦しくなっていきました。二〇一〇年七月には第六子を出産しました。畑や田んぼ、六人の子育てに加え座り込みや様々な勉強会、集会、そして裁判。ヘリパッドの問題と裁判がなければどれだけいろんなことができるだろう。子供たちのためにと頑張っている運動ですが、それを頑張れば頑張るほど今、目の前にいる子供たちと過ごす時間が奪われてしまうという矛盾に何度も悩みました。

【202】

お父さん　力の強い側が金と権力を使って、弱い側のせめてもの意思表示をつぶそうとしている。

【203】

イサ　この訴訟はスラップ訴訟と呼ばれています。原告側の欄には、首相や防衛大臣などの個人名ではなく、「国」の一文字が書かれています。「国」とは誰なのか。何なのか。私は被告として名前が挙げられていました。まるで私が罪を犯したかのように。

【204】

ヤヨイ　その後、裁判所は二名の内、一名については請求を棄却しましたが、あとの一名については通行妨害を認められてしまいました。

【205】

ユキネ　夫は棄却されたものの、イサさんに対し、一部通行妨害が認められたのです。これは決してひとりだけの問題ではありません。

【206】

ヤヨイ　現在控訴中です。

【207】

お母さん　私は高江に住んでいますが、仕事に出ているので急になにかあっても現場に駆けつけられません。沖縄防衛局員たちが一〇〇人くらいで押しかけてきたと朝六時過ぎに電話がかかってきても、私はお弁当を作って子供たちと御飯を食べて、仕事に行きます。県道を南下していると、連絡を受けて車を北に走らせている顔見知りともすれ違います。ごめんなさい、ごめんなさい、って歯をくいしばりながら、高江の森に背を向けて仕事場に向かいます。仕事の帰りには、車の中でも走りたいほど気がせいて、大急ぎで高江に戻りますが、今度は帰っていく顔見知りの車とすれ違います。現場にやっとついて、どうでした？　と私が聞くと、

【208】

ゲンさん　いやあ、大変だったさあ。

【209】

お母さん　後で映像で見ると本当に本当にひどいのに、みんなと穏やかにお茶を飲みます。。高江にもっとヘリパッドが出来て、オスプレイも飛ぶのは困るって言ったら、なんで国に訴えられたり、反対派とか言われたり、胸がつぶれるような思いをしたりすることになるのか。

【210】

お父さん　それでも、私たちは座り込みを続けました。

●雨の座り込みテント

　　　　　　雨の音。

【211】

ミサキ　高江に来て三日目。その日もテントへ。上はダウンジャケット。下は雨合羽という姿。ってか、沖縄ってこんなに寒かったっけ？

【212】

コスズ　お疲れ様。

【213】

ミサキ　こんにちは。

【214】

お父さん　琉球大学の准教授のコスズさん。毎週末、宜野湾から来てくれてるんだ。

【215】

コスズ　今日も防衛局来なそうだね。今年は宜野湾市長選が終わるまでそれどころじゃない感じね、不祥事もあったし。去年の今頃はひどかったけど。

【216】

ヤヨイ　円城寺さんに聞きました！

【217】

コスズ　防衛局の人が作業員の人を引き連れて、毎朝百人は来てたかな。とにかくめちゃくちゃハードだった。で、やっと三月になって。三月に入ったら六月までノグチゲラの繁殖期なので作業をやめますと防衛局も宣言しているのね。

【218】

お父さん　やっと解放されたような気になってたけど、あの状況がまた繰り返されるかと思うとぞっとしたよ。

【219】

コスズ　それで、考えた。重機さえ入れなければ作業できないわけだから、それで、夏からは車を借りて、ゲートの前にとめたの。いろんな政党のキャンペーンカーや、組合の街宣車にも来てもらったら、政党見本市みたいになって（笑）。だから去年みたいにめちゃくちゃなことにならずに済んでる。でも、防衛局の人たちもあきらめなかった。

メガホンを持った防衛局員現れる。

【220】

防衛局員１　工事をさせて下さい。

【221】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さい。

【222】

防衛局員３　工事車両が通ります。道を空けて下さい。

【223】

防衛局員４　妨害行為はやめて下さい。

【224】

防衛局員１　工事をさせて下さい。

【225】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さい。

【226】

防衛局員３　工事車両が通ります。道を空けて下さい。

【227】

防衛局員４　妨害行為はやめて下さい。

【228】

コスズ　あんまりうるさいから、座り込むテントの周りに横断幕を張ってね。みんなで耳栓して静かに読書なんかしたりして。

座り込みする住民と支援の人たち。

横断幕一枚を挟んで、メガホンで叫んでいる防衛局員。

座り込みしている人たちは、ただ座ってじっとしている。

【229】

防衛局員１　工事をさせて下さい。

【230】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さい。

【231】

防衛局員３　工事車両が通ります。道を空けて下さい。

【232】

防衛局員４　妨害行為はやめて下さい。

【233】

防衛局員１　抗議活動は顔を出してやって下さい。

【234】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さい。

【235】

防衛局員３　立てこもるのはやめて下さい。

【236】

防衛局員４　テントから出て来て下さい。

（以下、４人同時に一連の台詞を二回繰り返す。）

【237】

ゲンさん　そんな声出してては喉を潰すぞ！　もっと腹から出さんと！

【238】

防衛局員１　（めんくらうが、発声方法を変えて）工事をさせて下さい！

【239】

コスズ　防衛局員たち、疲れが見えてきた様子。

【240】

防衛局員１　工事をさせて下さい。

【241】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さい。

【242】

防衛局員３　工事車両が通ります。道を空けて下さい。

【243】

防衛局員４　妨害行為はやめて下さい。

【244】

防衛局員１　抗議活動は顔を出してやって下さい。

【245】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さい。

【246】

防衛局員３　立てこもるのはやめて下さい。

【247】

防衛局員４　テントから出て来て下さい。

【248】

コスズ　午後は、すこし疲れが見えネタも尽きてきたのかセリフもだんだん、

【249】

防衛局員１　プランターを並べないでくださーい。

【250】

防衛局員３　工事車両を移動してくださーい。

【251】

ゲンさん　工事車両って、それはあんたらでしょうが。

【252】

防衛局員１　あ（一瞬しまったという様子で止まる）工事をさせて下さーい。

【253】

防衛局員２　北部訓練場の過半の返還に協力して下さーい。

【254】

防衛局員３　工事車両が通ります。道を空けて下さーい。

【255】

防衛局員４　妨害行為はやめて下さい。

【256】

コスズ　何が起こってるか、何に人が傷ついてるか、知った人たちがたくさん座り込みにきてくれた。起こったことはひどいけど、それを理解してくれる人がきてくれたっていうのは大きい。起こったこと、大変だったことを共有できる。そういうのを大事にしていきたいって思う。

【257】

ミサキ　コスズさんはそう話すと、ワイルドな車に乗って走り去った。

 コスズ、去っていく。

【258】

ヨシエ　何か私……。ごめんなさい。

【259】

ミサキ　ええ？

【260】

ヤヨイ　奈良から来たヨシエちゃんです。

【261】

ヨシエ　うち、和歌山で、台風が来たときボランティアやってたんですよ。そのときは、やればやるだけ感謝されるし、働くだけみんなのためになってる、どんどんよくなってるって実感があったんですよ。でも、ここだと自分は座ってみかん食べてるだけ。

【262】

モリオカ　いやいやいや、いつ防衛局の人たち来るかわからないから、いてくれるだけでうれしいんですよ。最初の頃は、当番じゃない日に家にいて、今日来るんじゃないかって思うと寝られなくて、テントに布団持って来て寝て、次の日そのまま仕事行って眠い、みたいな。ほら、白髪も増えますよ。

【263】

ヤヨイ　高江にはどうして？

【264】

ヨシエ　うち、ケンカが嫌いなんですよ。

【265】

ヤヨイ　……ん？

【266】

ヨシエ　はい。

【267】

ヤヨイ　ケンカ？

【268】

ヨシエ　はい。防衛局の人と、住民の人が、ケンカしてはるでしょ。

【269】

ヤヨイ　ケンカ……ではないと思う。

【270】

ヨシエ　うち、争いをとめたいんですよ。防衛局の人も、住民の人も、争うのはやめて、話し合ったらいいと思うんですよ。どっちが正しいとか、間違ってるとか、ないんやと思うんです。話し合って、じゃあこうしたらいいやん、って決めていけばいいと思う。だから、クッキーを焼いてきたんです。

【271】

ミサキ　クッキー？

【272】

ヨシエ　はい、お互いが一息つければいいかなと思って。

【273】

ヤヨイ　そうか、うん、しかし……。

【274】

ヨシエ　世界中で戦争とか起こってるけど、みんな話し合えばいいと思うんです。

【275】

ヤヨイ　話し合いの場を求めるために座り込んでいるんだよ。争っているみたいに見えるけど、争わされているっていうか……。高江の人たちは何と闘っているのでしょう。

【276】

マーティ　高江の映像を撮っているマーティです。防衛局の人のなかにも、個人的には納得がいかないけど、でも上からの命令に逆らったらクビになるかもしれないししょうがない、という人もいるんじゃないかと思います。

【277】

ナオコ　工事の作業員には同じ東村の出身者もいます。「沖縄県民としてどうなの？」「家族はどう思っているの？」と話しかけると、泣きだす若い作業員、顔を隠して逃げる人もいます。

【278】

ヤヨイ　みんな生活のためにやっている――。

●嘉手納

【279　宮城】

平良　一九八二年に嘉手納基地周辺に住む九〇七名の原告が、沖縄で初めての爆音差止め訴訟を提訴したんです。

【280】

ミサキ　次の日、車で嘉手納基地の回りをぐるっと走りました。カーナビを見ると、道の右も左も全部基地。

【281】

ヤヨイ　日本にある米軍専用基地の七四パーセントが沖縄に集中してるって、車で回ると実感しますね。

【282】

ミサキ　嘉手納爆音訴訟の原告団、事務局長の平良さん。

平良さん、おそらく五〇代、気のいいおしゃべりな方。

【283】

平良　沖縄市では、日本政府の税金で補助が出て、二重窓にできるんですが、そしたらあっついからクーラーつけんといかんですよ。そうすると電気代はかかるわけさ。それは自腹よ。でもクーラーつけるのいやだから窓を開ける、そしたらうるさい、エンジンの匂いもする。

【284】

ミサキ　はい。

【285】

平良　爆音訴訟の判決では、飛行停止させることはできなかったんですよ。日米安保の根幹にさわるからって。そこまでは司法でさわれないって。

【286】

語り　しかし、騒音被害に対する責任を果たしていないので、国は損害賠償をしなければならないという判決が下された。

【287】

平良　それで、えー、お金がもらえるんだーって、この爆音訴訟が世にしれることになるわけね。初めは、一部の人たちがやってる運動、と冷めた目でみられたんですよ。でも、そんな賠償はどうでもいい、物言わぬ民は滅びる、という構えでやっていた。で、損害賠償が下りることになった。そしたら、「こういうことでお金が下りるのか」と知った第一次訴訟の原告に入れなかった人たちが、「第二次訴訟どうすんの？」と聞いてくるので、第二次訴訟もやったわけですよ。それが五五四〇人。いきなり増えた。それで、次は第二次訴訟で入りそびれた人が、「第三次いつやんの？」それでセッティングしたら、二万二千五十八人の原告になったわけさ。

【288】

ヤヨイ　すごい！

【289】

平良　民事レベルで請求するのは当然のことなんです。気が狂った人、アルコール中毒になった人、いろんな被害をみな被っているわけですから。でもね、私たちにとって、損害賠償というのは二の次なんです。それよりも先に、騒音をせめて半分にでもしてほしい、それが私たちの願いなんです。

【290】

語り　夜一〇時から翌朝六時までの飛行を控える、という日米政府が結んでいる騒音防止協定は守られていない。

【291】

平良　嘉手納では、二四時間切れ目なく、八〇デシベル前後の充電音をＰ３Ｃ（ピーサンシー）オライオンがまき散らしてる。

【292　安仁屋】

ヤヨイ　Ｐ３Ｃオライオン？

【293】

平良　潜水艦を見つける機能を持つ航空機。ソナーで潜水艦をさがして、爆撃する。ソナーは電力を食うから常にジェットエンジンをふかして充電しとかなきゃいけないわけ。ずーっと。嘉手納基地のすぐそばのナカモトモータースっていう中古車さんでは１秒の切れ目もなく、ジェットエンジンの音がずっと聞こえている。それに加えて、お客さんと話しているあいだも、何度も飛行機の音で会話が分断されて。また考え直すって、お客さんを逃してしまったこともあるそうです。

【294】

ミサキ　その後、私たちは普天間に向かった。

【295】

ヤヨイ　フテンマ、フテンマって、名前だけ一人歩きしてる感じがするけど、普通に、街なんですね。

【296】

語り　坂手洋二作、戯曲『普天間』より、元基地労働者である重臣、やんばる出身の宮城。

　　　　　　飛行機の音。

【297】

重臣　普天間第二小のグラウンドのすぐそこで、よくヘリがホバリングしているし、あっちは校舎の上を飛ぶね。

【298】

宮城　ずいぶん低いところを飛ぶわけですね。話には聞いていましたが、近すぎます。

【299】

重臣　普天間は、航空機事故が起きる可能性が高いとして、土地利用を禁じられてるクリアゾーン内に公共施設、保育所、病院が一八カ所、住宅約八百戸、住民約三千六百人余、米軍の安全管理基準からも日本の法律からも外れているのに、どちらにも縛られていない超法規の航空基地ということさー。

【300】

宮城　ハッサミヨー（なんてことだ）。

【301】

語り　普天間基地労働者。

【302】

基地労働者　普天間で働いているウチナーンチュは、キャンプ・フォスターに事務所のある警備部門除いて一八九名、昔は三百人くらいいたらしいけど。思いやり予算注ぎ込んで、基地の中は毎年いつだってすごい建築ブームだよ。

【303】

語り　宜野湾市役所職員。

【304】

市役所職員　そこにマジックがあるわけよ。県民には渡っていない。公共事業中心の振興策だから。ヤマトゥぬゼネコンがとってく、沖縄の会社はたいていひ孫請け。

【305】

重臣　県民のなかにも沖縄経済は基地依存と信じ込んでいる人が少なくない。そりゃ基地収入は六〇年代初めは県民総所得の５２％だったけど、ここ四半世紀は（県民所得の）五％にすぎない。返還後、沖縄の県民所得は見事な右肩上がり、観光産業はとうに基地収入を上回ってる。北谷のアメリカ村が実証してるわけさ。ハンビー飛行場返還で八十倍の経済効果があった。

【306】

語り　沖縄国際大学の教授とその息子。

【307】

沖国大教授　……わざわざ基地のそばに来たんじゃないのよ、この町の人たちは。普天間は、米軍が沖縄の人たちを収容所に隔離しているあいだに、土地を取り上げて作った基地なの。

【308】

息子　日本に返還されるとき、基地も出てってもらえばよかった。

【309】

沖国大教授　返還前の日本は反米闘争が高まってて、本土の米軍基地は縮小される方向にあったの。

【310】

息子　だったら沖縄も……。

【311】

沖国大教授　それが逆なの。返還前、本土から立ち退くことになった米軍基地は、当時日本国ではなかったもともと米軍基地だらけの沖縄に、維持経費の拠出を条件に、駆け込みで移設されたわけ。

【312】

オスプレイ１　我々ＭＶ‐２２オスプレイはいよいよこの秋、無事、普天間基地に到着致しました！（三人ポーズ、ポーズの後、ああ、やれやれ、と汗を拭いている）

【313】

ミサキ　出たなオスプレイ！　このオバケヘリコプターめ！

【314】

伊波　元宜野湾市長の伊波洋一（いはよういち）です。正確にいうとヘリじゃないんですよ。

【315】

ミサキ　どういうことですか。

【316】

オスプレイ３　我々が説明しましょう。

【317】

オスプレイ１　私はオスプレイの右のプロペラです。

【318】

オスプレイ２　私はオスプレイの左のプロペラです。

【319】

オスプレイ１　プロペラの直径一一メートル。

【320】

オスプレイ３　私が胴体です。

【321】

オスプレイ　１２３　みんな合わせてＭＶ―２２オスプレイです。

【322】

ミサキ　何なの。

【323】

オスプレイ１　オスプレイは、ヘリコプターと飛行機の両方の特性を兼ねそなえた航空機！

（オスプレイ１、２、素早くオスプレイ３の左右につく）

【324】

オスプレイ２　離着陸の時はヘリモード。

【325】

オスプレイ３　前進する時には飛行機モード。

【326】

オスプレイ１　ヘリコプターよりも早く飛べ！

【327】

オスプレイ２　へリコプターよりも長く飛べ！

【328】

オスプレイ３　ます！

【329】

オスプレイ１　飛行機の幅は左右についたプロペラの半径を合わせ、約二五メートル。

【330】

オスプレイ２　ちょうどこの二ライセンター・カナイホールの舞台後方の壁から、客席後方の壁ぐらいの長さですね。

【331】

ミサキ　でかっ。

【332】

オスプレイ３　（得意げに）計算済みです。

【333】

オスプレイ１　全長は一七．四八メートルありますから、

【334】

オスプレイ２　このホールのちょうど客席左の壁から右の壁までぐらいですね。（示す）

【335】

オスプレイ１　このホールにすっぽり入る。

【336】

オスプレイ３　計算済みです！

【337】

ミサキ　いつの間に！

【338】

オスプレイ１　オスプレイの機体重量は２万３８５９ｋｇ。

【339】

オスプレイ２　今まで使っていたＣＨ４６というヘリの二倍以上の重さです！

【340】

ミサキ　おもっ。

【341】

オスプレイ３　（得意げに）しかしプロペラの大きさはヘリよりも小さい。

【342】

ヤヨイ　大丈夫なの……。

【343】

オスプレイ１　コンパクトかつスピーディに回転します！

【344】

伊波　二〇〇〇年には連続で事故を起こしています。

【345】

ヤヨイ　だめやん。

【346】

伊波　今年四月にもモロッコで墜落事故、六月一三日にもフロリダ州で墜落事故が起きました。

【347】

ミサキ　え、欠陥品？

【348】

オスプレイ３　どちらの事故も機体はノープロブレム、人為的ミスです。

【349】

ミサキ　人為的ミスでそんな簡単に墜落するの……。

【350】

オスプレイ１　大丈夫です！　日米両政府が九月一九日に安全宣言を出したじゃないですか！

【351】

オスプレイ２　ただちに影響はありません。

【352】

ミサキ　信用できない！

【353】

伊波　自らがオスプレイの開発、研究に関わった、アメリカの国防分析研究所のリボロ氏が言っています。リボロさん！

【354】

リボロ　リボロです。四月のモロッコの事故では、事故機は方向転換したとき、風を背中から受ける方向になって墜落したのです。追い風を受けることはオスプレイにとって非常に危険なのです。普通のヘリコプターなら前方に余裕があれば、風が後ろから来ても問題はありません。ところがオスプレイでは墜落する。プロペラが左右に配置されている、胴体に対してプロペラが小さいといった設計上の問題なのです。

【355】

オスプレイ２　パイロットが下手なの！

【355A】

オスプレイ３　操作ミス、操作ミス！

【355B】

リボロ　なお、他の飛行機の後方乱気流を受けた場合、普通のヘリなら上下に揺れるだけですが、オスプレイはそうはいきません。プロペラが左右にあるので横揺れするのです。（リボロ、オスプレイ君たちを使って巧みに表現）そこからの回復が非常に難しい。

【355C】

伊波　米軍の報告書によると、六月のフロリダの事故はオスプレイが二機編隊で、後続機が十分な間隔を空けずに飛行したため、前の飛行機の起こした乱気流に巻き込まれて、急激に高度を失って墜落したと結論づけられています。

【355D】

リボロ　リボロです。他の飛行機の後方乱気流に巻き込まれるのなんて日常茶飯事ですよ。この問題に解決策はありません。一機ずつ飛ばす以外にはね。軍用機で編隊組んで飛行できないなんて、使い物になんないってことだけど。

【355E】

ヤヨイ　オスプレイが危険だと言われるのは、他に具体的にどんな点があるんですか。

【355F】

伊波　一番大きいのは、安全なオートローテーション機能がない点ですね。

【355G】

ミサキ　オートローテーション機能？

【356】

伊波　通常のヘリだと、エンジンがなんらかの故障を起こして動かなくなってしまった場合、気流を利用してプロペラを回し、比較的ソフトに安全に着陸できる機能がついているんです。

【357】

ヤヨイ　オスプレイのヘリモードには、その機能がない。

【358】

伊波　さっき話にも出たように、重量に対してプロペラが小さすぎるんです。オスプレイの説明書には緊急時の対応として、こう書いてあります。

【359】

オスプレイ３　二機のエンジンが停止しての着陸はほとんどありえないが、必要とあらば**航空機モード**で、滑空して着陸することができる。

【360】

ヤヨイ　ヘリモードからわざわざ航空機モードにチェンジして着陸せよってこと。

【361】

オスプレイ１　グライダーのように着陸することが可能です。

【362】

ヤヨイ　え？　プロペラが先に地面につくんじゃないんですか？

【363】

オスプレイ２　ノープロブレム。プロペラが地面に触れると、飛散する機能がついています。

【364】

ミサキ・ヤヨイ　ええー！

【365】

オスプレイ３　乗務員と機体の安全は守られます。

【366】

ミサキ　プロペラが飛散してどこに行くの？　直径一一メートルでしょ！

【367】

ヤヨイ　バラバラになって住宅地とかに飛んでいかない？

【367A】

オスプレイ１　大丈夫です！　日米の合意で約束したことを覚えていますか？

【367B】

オスプレイ２　住宅密集地上空の飛行を避ける。

【367C】

オスプレイ３　出来る限り！

【367D】

オスプレイ１　事故を起こしやすいとされるヘリモードでの飛行は米軍の施設内とする。

【367E】

オスプレイ３　出来る限り！

　　　　　　他の出演者、大ブーイング。「覚えてないのはお前らだろう！」「昨日小学校の上を飛んでるのを見た」「うちの庭の上をヘリモードで飛んでた」など。

オスプレイ達、聞こえないふり。

【369】

リボロ　リボロです。オスプレイはヘリモードから飛行機モードに移行するのに一二秒かかる。その間に高度は約四八八メートル下がる。したがって、ヘリモードで四八八メートル以下の高度で飛行しているオスプレイが、全パワーを喪失した場合は切り替えが間に合わず大惨事を引き起こす。

【370】

伊波　もしエンジンが故障すれば、ほぼ真下に落ちていくと考えたほうが実態に近い。滑走路までいきつけない。

【371】

ヤヨイ　やっぱり住宅地に……。

【372】

オスプレイ２　というわけで、アメリカは我々の配備のために二〇〇億円を超える普天間基地の大規模補修の計画を立てている！

【373】

オスプレイ３　一年につき二六億円を日本に払ってもらおう。

【374】

オスプレイ１　ありがとう！　さすがトモダチ！

【375】

オスプレイ３　行くぞ！

【376】

オスプレイ１、２　本格運用まで、もうひとふんばりだ！

オスプレイ合体すると、意気込みとは裏腹にふらふらと退場。

【377】

伊波　オスプレイの配備が決まっていることを日本政府が公表したのは、二〇一一年の六月です。

【378】

ヤヨイ　それまでは国会で追及されても、日本政府は「何も知らされていない」って言い張ってたんですよね！

【379】

伊波　しかし、一九九六年に防衛省の担当者が、「日本国民にオスプレイ計画を公表するかどうか」をアメリカ側に相談していたことがばれています。一九九二年に米軍が作った普天間基地のマスタープランに、オスプレイの沖縄配備について書かれていたことも明らかになりました。

【380】

ミサキ　なんで日本はやだって言わないの。

【380A】

ヤヨイ　ハワイでは住民の抗議があって、オスプレイの訓練が中止になったって聞きました！

【381】

伊波　安保――日米安全保障条約によって、日本がノーと言ったりできない構図ができてしまってるんです。

●日米地位協定

【382】

語り　基地・軍隊を許さない行動する女たちの会、宮城晴美。

【383】

晴美　活動の一環として、沖縄駐留の米兵や米軍属によるレイプ事件の調査に着手しました。

【384】

語り　一九五五年九月三日、六歳の少女が米兵に嘉手納基地に連れ込まれ、強姦され、殺された。

【385】

晴美　由美子ちゃん事件です。激しい雨に打たれ、ずぶぬれになった由美子ちゃんの遺体は、基地内のゴミ捨て場で発見され、唇を噛みしめ、右手に数本の雑草を握りしめるようにして死んでいたそうです。犯人の米兵は一度死刑の判決を受けましたが、その後四五年の刑に減刑された。ところが実際は本国に帰ってしまい、その後、処罰がどうなったか不明です。

【386】

語り　由美子ちゃん事件の一週間後の九月一〇日には、石川市の農家宅で、突如「女を出せ」と土足で上がり込んできた米兵が、九歳の少女を強姦。

【387】

語り　いったん犯人が基地に逃げ込んでしまえば、日本の警察は逮捕することができない。

【388】

語り　第一次裁判権が日本にあると認められる場合でも、起訴されるまで米兵の身柄を拘束することができない。

【389】

語り　米兵が車で人をはねても、それが「公務中」であれば、日本の警察がたとえ現行犯逮捕していても米軍に犯人を引き渡さなければならない。

【390】

語り　日本側は裁判にかけることすらできない。

【391】

晴美　日米地位協定です。

【392】

伊波　協定の裏では、裁判権放棄の密約が結ばれていました。

【393】

晴美　米軍人と、その家族の犯罪の裁判権を、よほどの事件でないかぎり日本は放棄する。

【395】

語り　一九九五年九月四日、北部の一二歳の女子小学生が買い物中、米兵に拉致、集団強姦される。

【396】

語り　二〇〇一年六月二九日、沖縄本島中部で、友人とともに飲食店を出て駐車場に向かっていた二〇代の女性が、後ろからつけてきた米軍曹にレイプされた。

【397】

語り　二〇〇三年、五月一五日、本島北部で一九歳の女性がキャンプ・ハンセン所属の米海兵隊上等兵に顔面を殴られ、強姦される事件が発生。女性は鼻骨骨折で全治三週間の重傷を負った。

【398】

語り　二〇〇四年、八月二二日、中部で米軍関係者による強姦事件。

【399】

語り　二〇〇五年、七月三日 沖縄市嘉手納基地所属の米兵による小学生強制わいせつ事件。

【400】

語り　二〇〇八年二月一〇日、中部の一四歳の女子中学生が海兵隊員に暴行される。

【404Ａ】

語り　今年八月、那覇市で米兵による強制わいせつ事件が発生。

【404Ｂ】

語り　先月一〇月一六日未明、嘉手納町で、未明に帰宅中の成人女性が米海軍兵二人に暴行された。

【404C】

語り　今月十一月二日、読谷で嘉手納基地所属の米兵が酔っぱらって民家に侵入、男子中学生を殴打。

【394】

伊波　密約があるから、沖縄や岩国や横須賀の基地で事件がおこっても、被害者なのにまるで加害者のように扱われ、尋問され、不起訴に持って行かれるんです。

【405】

ミサキ　ここにある基地、ここに暮らす人々。それを無視し続けたのは、日本という国。私とヤヨイちゃんはそれから、普天間飛行場の移設候補に上がっている、辺野古に向かった。

●辺野古

小柄だが芯の強そうな女性、浦島悦子が待っている。

【406】

ミサキ　浦島悦子。フリーランスのライター。

【407】

ヤヨイ　周辺地区十区は、合わせても人口二〇〇〇人足らずの過疎地だそうです。辺野古にあるキャンプ・シュワブは沖縄で唯一、住民が誘致して受け入れた米軍基地だと言われています。

【408】

浦島　でも、決して喜んで受け入れたわけではない。

辺野古のおじいが出てくる。

【409】

辺野古のおじい　辺野古のおじいです。一九五五年、まず、伊江島と伊佐浜が無理やり接収された。そのあとが辺野古だった。なんとか方法があれば反対運動もやりよったですよ。しかし、当時は何の方法もなかったし、沖縄では戦争で働く場所がなくなったから、みんな生きるために軍のあとをついていくんです。これは方程式、もう決まっていることだったんです。

【410】

浦島　住民がどんなに反対しても抵抗しても、当時の米軍は「銃剣とブルドーザー」で土地を取り上げて、基地を造った。それを見てきた辺野古の人たちは、どうせ造られるならって、道路とか水道とか最悪だった生活基盤を整備させることを条件に受け入れた。それは責められない。

【411】

ミサキ　そして、一九九六年秋、普天間基地返還の代わりにと、辺野古の海上ヘリポート計画が降って湧いた。

【412】

浦島　おばあたちも、よそ行きを着て、慣れない集会に出た。一九九七年、移設受け入れの是非を市民に問いかけた住民投票があった。みんな運動なんてしたことないから、どうしていいかわかんなかったけど、仕事休んで、子どもたちに留守番をさせてかけずり回った。嫌な思いもしたよ。賛成派に罵倒されたこともあった。だけど、投票で勝てば基地を追い出せるって頑張ってね。それで、ついに投票で勝った。みんなで喜んだ。だけど、その三日後にね、たった三日後に市長が基地を受入れて、辞任した。まるで天国から地獄に突き落とされたみたいだった。その後名護市長になった岸本建男さんは、大型工事ではなくて、身の丈にあった開発をしていこうと唱えて注目を集めた人だった。でも、彼は一九九九年に大型工事の典型である基地建設に合意してしまった。私たちは彼の本意がわからなかった。でも、受け入れの時に岸本さんが示した七つの条件は、それを満たせば基地建設なんか出来ないような条件だった。あれは彼のギリギリの駆け引きだったのかもしれない。だけど政府はその条件だけをあっさり反古にした。岸本さんは良心の呵責に苦しんでいたと思う。アルコール中毒になって、身体壊して、六年前に亡くなった。まだ六二歳だったのに。

【413】

ヤヨイ　そして二〇〇四年四月、建設のために、海底に穴をあけて地質を調べる調査をしようとした。

【414】

辺野古のおじい　地元住民をはじめ多くの人が、集まってこれを止めたんです。

【415】

浦島　日本中、世界中から、たくさんの人たちが手弁当で応援にかけつけてくれた。

【416】

辺野古のおじい　しかし、二〇〇四年九月、日本政府は海の調査を開始した。

【417】

語り　ふたを開けてみれば、ただ、飛行場を移設するだけではなかった。米軍は辺野古に、普天間飛行場にはなかった「弾薬庫」と「港」も設置するという。弾薬の積み下ろしをスムーズにするためだ。

【418】

語り　沖縄の負担軽減のために移設すると言いながら、実際の米軍の狙いは、小さなボロボロの設備を新しくすることだった。

【419】

浦島　座り込みの主な舞台は海の上に移った。海上行動は危険を伴います。でも、志願者はなぜか女性が多かった。

【420】

辺野古の母　はじめはカヌーに乗って、次は、海上のやぐらの上で調査を止めたさ。海の上はじっとしていられないほど寒かった。作業員に暴力も振るわれたさ。作業の船が迫ってくるとこわくてこわくて。陽射しが強い日もあるし、風の冷たい日もあるし、嵐や雷の日もあったさ。トイレも我慢してとてもつらかったね。

【421】

浦島　でも、晴れた日、作業の船が来ないとき、やぐらの上から見る海は、この世のどんな宝物もかなわないほど美しかった。

【422】

辺野古の母　あんなことがなければ、あんな体験は一生、することもなかっただろうなあ……。

●ベトナムの傷跡

【423】

ミサキ　それから、辺野古の岬へ向かった。かつて米軍で潤っていた街「アップルストリート」。ひとけはない。壁に書かれた英語の文字はすっかり色あせている。曇り空の下、街を横目で見ながら、私たちは辺野古の浜へ降りた。（フェンスの向こうを指さして）ここからすべてキャンプ・シュワブ。

【424】

ヤヨイ　この海にジュゴンがいる。

【425】

みっちゃん　ジュゴンにはなかなか会えないって。

【426】

ミサキ　辺野古で座り込むみっちゃん。海上での工事を阻止するカヌー隊にも参加している。

【427】

語り　米軍占領下の一九五九年、完成したキャンプ・シュワブに六〇〇〇人の兵士がやってきた。そして、一九六五年、アメリカはベトナム戦争への全面介入を開始。

【428】

みっちゃん　うちの祖父は嘉手納で働いてたの。直接ベトナム戦争で爆弾落として帰ってきた飛行機に、もう一度爆弾を装備するのは沖縄の人間の仕事だった。メンテナンスしたりだとか、弾薬を装備したりだとか。ここは、飛行機が走るだけじゃない。ここから爆弾つんでいくの。

【429】

語り　当時、アメリカの支配下にあった沖縄は、最も重要な軍事基地だった。

【430】

ミサキ　高江でモリオカさんは古い新聞のコピーを見せてくれた。ベトナム戦争のとき、高江の人たちが米軍基地に呼ばれて、訓練でベトコン役を演じさせられたという記事。

【431】

モリオカ　四九年前の八月二六日、東村高江新川の対ゲリラ訓練場で、ワトソン高等弁務官らの観戦のもと「模擬ゲリラ戦」が展開された、とあります。高江に住んでる人たちが、ベトナムの人の帽子や、衣装も着せられて。

【432】

ミサキ　一緒に座り込んでいたおじいとおばあが話してくれた。

【433】

おじい　みんな、何回か米軍に召集かけられていったんですよ。本当の戦場みたいに、穴ぼこがいっぱいのところに罠がたくさん仕掛けられていて、それを避けながらアメリカ兵が村に近づく訓練を繰り返しとる。

【434】

おばあ　穴ぼこに落ちて足ひねったりする子もいっぱいいてね。住んどる小屋をめがけて模擬焼夷弾を投下させたり、私らに銃を向けたりして、こわかったよー。私らを本当のゲリラと思って訓練しとる。

【435】

おじい　南ベトナムの人になりかわってね、南ベトナムの人たちの代役をさせられているわけでしょう。しかもいたいけな三歳から六歳の幼児まで。やりきれんよ。

【436】

桜井　沖縄大学の桜井です。そもそもここでどういう演習をやるのかもわからない。高江の人たちが直面しようとしているのは、まさに自分たちの生活空間をゲリラ戦の訓練場所にされてしまう、ということなんです。

【437】

アレン　元ベトナム帰還兵のアレン・ネルソンです。私がニガーから脱するためには、軍隊に入るしかなかった。海兵隊に入れれば、人々に尊敬され、職をえることができ、みんなから「ありがとう」といわれる。沖縄に来てから、訓練は一層厳しさを増しました。人を殺す三二種類の方法を教わりました。私たちは沖縄のジャングルや丘を、殺人技術をひたすら向上させるために使っていました。

【451】

ミサキ　イサさんは、高江で枯葉剤が散布されたのではないかと疑われている現場に連れて行ってくれた。

【452】

ヤヨイ　森の中で、そこだけぽっかりと赤い土がむき出しになっている。

【45】

イサ　沖縄で働いていた退役軍人たちが、枯葉剤による健康被害を訴え始めた。

【454】

ジョン・ミッチェル　ジャーナリストのジョン・ミッチェルです。やんばるの森から那覇港に至る十四カ所の米軍基地にダイオキシン類を含む化学物質が貯蔵、散布、埋め立て処分されたという証言を聞いています。こうした元米兵からの情報はすでに一〇〇件を超えています。アメリカ国防省は沖縄での枯葉剤の存在を認めていない。そのため、医療費の補償要求は、繰り返し拒絶されてきたのです。

【455】

語り　クリス・ロバーツ中佐。現在、ニューハンプシャー州議員を務める。米海兵隊普天間飛行場で、維持管理作業の全般を担当していた。

【456】

ロバーツ中佐　一九八一年夏、施設から流出した下水中に「容認しがたいほど高い値」の化学物質を検知したと上官から告げられました。私と建設部門の隊員は滑走路の末端近くを掘り起しました。私たちは並べて埋まっていた一〇〇本以上のドラム缶を掘り起こしました。錆びて漏れていたそのドラム缶のいくつかは、周りにオレンジの印が付いていました。

【457】

語り　エージェント・オレンジ、ドラム缶の周囲に描かれた縞模様の色から名付けられたその枯葉剤の危険性は、一九八〇年代初頭になってもまだ、広く周知されていなかった。

【458】

語り　ロバーツは、心臓疾患と前立腺癌を患い、肺がんの前駆細胞も見られる。彼の医師はエージェント・オレンジ被曝の症状だと指摘している。

【459】

語り　現在、北谷町の人気の観光地区となっている場所に、一九六九年に数百ものエージェント・オレンジのドラム缶を埋却したことを元米兵が二〇一一年の夏に証言。

【460】

元兵士　適切な処置を行うために国に移送するよりも埋めてしまったほうが安上がりだからだ。軍がいつも沖縄でやってきたことだ。

【461】

語り　日米地位協定第四条、「返還後の基地に対しては米軍は一切責任を負わない。」

【464】

モリオカ　米軍基地が出来ても、返還されたら自衛隊の基地になるんだからいいでしょっていう人いますけど、そんな甘いもんじゃないですよね。軍隊は市民を守らない。

【465】

イサ　二〇〇七年に、北部訓練場の中にあるダムから、投棄された弾薬類が一万発以上発見されました。枯葉剤の汚染の度合いもはっきりしない。福地（ふくぢ）ダムの水も新川（あらかわ）ダムの水も沖縄中が飲むんです。

【466】

みっちゃん　ファルージャの虐殺もこのキャンプ・シュワブの海兵隊がやったの。沖縄はアルジャジーラのジャーナリストから、悪魔の島、と呼ばれているの。沖縄からイラクに飛行機が飛んでくるから。

【467】

ミサキ　ミサキ　曇った空の下でも、その海の美しさはわかる。白い浜の先に鉄のフェンスが見えた。その向こうにも白い浜が続いている。絶対に乗り越えられないよう高くそびえるフェンス。あの壁で人間たちは何を区切っているんだろう。近づくと、移設に反対する人たちが結んだカラフルなリボンが風に揺れていた。リボンは、鉄のフェンスと比べたらとても弱弱しかった。でも、きれいだった。

【468】

ヤヨイ　私たちは用意してきていたブルーのリボンをフェンスに結んだ。……どうして辺野古とか、高江なんでしょうね。

【469】

ミサキ　ん？

【470】

ヤヨイ　新しく作ろうとする場所。

【471】

ミサキ　……高江のお母さんの言葉を思い出した。

【472】

お母さん　原発でもダムでも、いつまでもいつまでもいつまでもずーっとずーっと反対し続けないとつくられてしまう。私は、たぶん、高江に住んでいる限り、一生すわり続けなくてはならないんだろう。

●沖国大検証

【477】

お父さん　二〇〇四年、八月一三日、一四時一五分、普天間基地を離陸した点検飛行中のヘリコプターが機体に変調を起こし、沖縄国際大学の本館に墜落した。

　　　　　　　　（坂手洋二作、戯曲『普天間』より抜粋）

【478】

シマナイチャーの彼女　機体の爆発は大小合わせて十回ほど起こった。

【479】

女性市民団体代表　黒煙は十メートル上空まで立ちのぼった。

【480】

大学職員　近くの草むらから、頭や顔から血を流した米兵が這い出てきた。

【481】

消防隊員　脱出する乗員を全員救助。

【482】

大学職員　一人重傷。

【483】

ある人　一四時五〇分、小泉首相は事故のことを聞きながら、『ディープ・ブルー』という映画を観始める。

【484】

彼女　一五時〇八分、鎮火。

【485】

沖国大教授　火が消えてもゴムが焼け焦げたような悪臭は消えず。

【486】

ある人　機体は熱で変形、くしゃくしゃの紙くずのよう。

【487】

男子学生　アメリカ兵は百人はいたと思う。

【488】

沖国大教授　怖かったのは米兵！　銃を構えて入ってきた。

【489】

大学関係者　一五時三〇分、米軍は墜落現場を立入禁止区域に指定。

【490】

大学職員　機体の四方に黄色いテープを二重三重に張り巡らした。

【491】

テープの文字　「keep out（立入禁止）」

【492】

消防隊員　消防隊員だ。ヘリに学生が押し潰されていないか確かめたい、調査をさせてくれ。

【493】

米兵　「民間人は入れない」

【494】

米兵　「安全上の問題」

【495】

米兵　「ゴーアウェイ」

【496】

ある人　不法侵入しているのは米軍だ。

【497】

大学関係者　県警は既に妥協、ヘリの直近は米軍、周辺を警察が警備すると合意していた。

米兵たち、手や軍帽でカメラのレンズを遮ろうとする。

【498】

米兵　「ノー。ノー。」

【499】

米兵　「カメラ、ダメ」

【500】

米兵　「ダメ。ダメ」

【501】

学生　「How come？　This is university property.　Not military base.」

【502】

息子　一夜明けた一四日早朝、海兵隊は暴動鎮圧用ライオットガンを装備。

【503】

彼女　銀色の防御服とマスクに身を包んだ完全防備の米兵数人が、鎮火した機体に白い薬剤を撒き始めた。

【504】

ある人　あいつらなぜガスマスクをしている。

【505】

ある人　放射能か有毒ガスか。

【506】

女性市民団体代表　一五日、海兵隊はＣＡ２輸送機のタッチアンドゴーを再開。

【507】

ある人　小泉首相は夏休みを理由にアテネ五輪テレビ観戦に明け暮れ、稲嶺知事にも会おうとせず。

【508】

彼女　一六日、米軍はヘリの撤去作業に着手。

【509】

ある人　無許可で現場周辺の樹木の伐採を開始。

【510】

大学関係者　黄色と銀色の防護服。

【511】

沖国大教授　最高度の危険レベルＡ対応の装備だ。

【512】

ある人　放射能測定器？

【513】

大学関係者　付近の土壌を三十センチ掘り下げ、持ち帰った。

【514】

沖国大教授　一号館外壁のすすまで採取。

【515】

ある人　この日小泉は歌舞伎の『元禄忠臣蔵』を見ていた。

【516】

彼女　外務省は米軍による｢現場封鎖｣を追認。

【517】

外務官僚　「地位協定一八条五号に該当する」。

【518】

息子　米軍は機体を本国に運び去った。

【519】

ある人　八月一九日一三時五〇分、現場の管理権が沖縄県警に移譲された。

【520】

沖国大教授　七日間にわたる米軍の大学構内占拠は終わった。

【521】

女性市民団体代表　……事故の原因は整備不良によるボルトの欠落。

【522】

ある人　整備兵は省略型の整備コースをとっていた。

【523】

ある人　更に簡略化した裏コース。

【524】

ある人　かなり以前から恒常化していた。

【525】

大学関係者　未成年者も含む整備兵たちは、間断なく飛来するイラク派遣ヘリを相手に、一日十七時間もの過酷な勤務体制。

【526】

沖国大教授　八月二十日。ヘリ二十機と海兵隊二千人がイラクに派遣された。

【527】

ある人　普天間がもぬけの殻になったようだった。

【528】

ワスコー司令官　在日米軍司令官トーマス・ワスコーです。あの辺りで一番、緑がある所に不時着した。最初降りようとしたグラウンドでは学生たちが練習中だった。墜落に際し、操縦士がヘリを人のいない所に持って行ったというすばらしい功績があったことを申し上げたい。

【529】

沖国大教授　飛び散ったヘリの破片は五十箇所を直撃した。

【530】

ある人　落下地点から五十メートルに集合住宅が幾つかあるし、百メートル先にはガソリンスタンドもあったんだ。

【531】

ある人　犠牲者がでなかったのは奇蹟だ。

【532】

沖国大教授　みんなそう言った。

●宮森小学校事故証言

【533】

語り　今年の六月三〇日、森本敏防衛大臣は、オスプレイ配備の理解を求めに沖縄へ出向いた。

【534】

語り　反対する県民たちは激しく抗議、仲井眞知事、佐喜真宜野湾市長は受け入れ拒否の姿勢を崩さなかった。

【535】

語り　そのちょうど五三年前の六月三〇日、米軍のジェット機が小学校に墜落した。

【536】

ヤヨイ　事故のことを話してくれたのは、石川・宮森六三〇会、会長の豊濱光輝（とよはまこうき）さん。

　　　　　　豊濱氏の証言。

【537】

豊濱　六区五班、ここに墜落して機体が跳ね上がった。破壊した翼や、油も落としながら、二年三組の上を通り、四年一組の上を通り、六年三組に胴体が激突したんです。炎上した二年三組で六人、エンジンの突き刺さった六年三組で三人、その下の教室三年四組でも一人亡くなっている。その子は、ブランコで遊んでいるのを爆風でもって、ブランコごとねこそぎふきとばされて、その横にあるトイレの壁に叩きつけられて、即死でした。

【538】

ヤヨイ　この事故で一八名の命が奪われ、二〇〇人余の負傷者を出した。

【539】

豊濱　宮森小学校の当時の六年三組の担任は、比嘉静先生という小さい女の先生でね。

【540】

比嘉静（ひがしず）　学校ではミルク給食時間中でした。沖縄の子供たちは栄養足りないから、学校では二時間目の後に、生徒に粉ミルクを飲ませてたんです。突然、轟音とともにすごい熱気と火の流れ、激しい揺れ、としゃぶりの雨のように石の粉が襲ってきました。一瞬、地球が終わると思いました。天井に大きな穴があいて、廊下の窓際の壁がない。外壁のブロックも打ち抜かれ、窓ガラスも粉砕されて一面に散乱していました。机が、椅子が、ぜんぶ爆風で片一方に積み上げられて。「わーっ」と泣きながら「先生―。」と半狂乱になっている子どもたちに、逃げる指示をしました。ところが何人かが机や椅子の下敷きになって出てこない。エンジンの油のついた机が燃え出している。助けに近づいて、死んでいるとわかりました。一人、うつむいている子供の顔を叩いて、名前を呼んで意識を取り戻させました。助けを求めて降りていくと、二年生の教室から全身火だるまになった女の子が泣きながら出てきました。急いで火を消そうと手ではたくと背中の皮がズルズル剥けて私の手について。ハッとして女の子を抱いて「誰かいませんかー。」と呼ばわりながらいくとタケ先生が来て抱き取ってくださった。どんどん来る父兄の男性に「私の教室に子どもがいます。助けてください」と頼んでも誰も来てくれない。一三一六人の生徒がいるなかの、自分の子供を助けるのに精いっぱいなんですね。自分の子は自分でしか助けられないんだ、とわかって教室へ戻りました。

【541】

ヤヨイ　証言集をまとめた豊濱さん自身、長い間、自分の経験を語ることができなかったという。遺族の方や先生に話を聞きに行き、もう勘弁してください、よしてください、と言われながらも粘り強く少しずつ聞いていった。

【542】

豊濱　私は前年度までは宮森小学校にいて、それから教育委員会の転職になったんです。当時２５歳でした。教育委員会の事務所の窓から、ジェット機が落ちるのがみえたんです。事務所から宮森小学校までは八〇〇メートル。駆け足です。その途中、「宮森にジェット機がおちた、宮森にジェット機が落ちた！」みんな騒いで騒いで。宮森の前までくると、子供はわーわー泣きながら出てきている。六年一組の近くにある木のそばに三名の子供が横たわっていました。教頭先生に、見ていてほしい、とその子供たちを預けられた。そのまま私は遺体安置所の担当になったわけです。米兵は来ていました。早かったですよ。新聞記者なんかのフィルムをみんなぬきとっているんです。証拠を残さない。

【543】

ヤヨイ　伊波昭仁（しょうじん）さんは、学校から三軒隣に住んでいて、焼け死んで学校の遺体安置所まで運びこまれた。

【544】

豊濱　ここで警察医が診断書を発表するんです。昭仁さんは、手足が付け根からありませんでした。手足だけじゃない、首もないんですよ。お父さんお母さんが一生懸命首をさがしていました。「首がなくて、どうやって葬式をするんだ」ということで一生懸命探したら、胴体のあった５メートルほど先の灰の下に、首があったんです。二七歳でした。沖縄戦で生き抜いてきて、こういう状態で死んだ。遺族として、たまったものじゃないです。

焼け落ちた教室の灰のなか、子ども二人が出てきた時、焼けてしまって目もない、口もない、耳もない。歯だけがあるんです。そういう状態の遺体を、管理していたのが私です。見分けがつかないので、医者がその歯を調査していくわけです。この子は、何々を食べています、この子は何々を食べています、と一つ一つ言っていくわけです。そうすると、聞いていたお母さんが、いーっとこらえられなくなって机に突っ伏した。六年生だったら一二歳です。戦後二年後に生まれた子供です。親は沖縄戦を生きのびてきた人です。自分が生き抜いて産んだ子を、殺

されたんです。

【545】

ヤヨイ　事故原因は、米軍機の整備不良だった。事故機は墜落前に搭載していた実弾を東シナ海に投棄していた。これは事故四〇年後に琉球朝日放送が米軍から入手した資料で明らかになった。それまで事故原因はエンジン故障による不可抗力、とされていたのだ。

【546】

豊濱　普天間、行かれたことありますか？　普天間第二小学校は、飛行機が落ちた時のために避難訓練をするんです。教員が、学校にいる間は自分たちが子供の命を守る責任がある、っていうことでそうしている。日本のどこに、アメリカ軍の飛行機が落ちたときのための避難訓練をする県がほかにあります。

●抑止力

【547】

語り　韓国ではすでに米軍基地の縮小・撤収が進んでいる。基地全体は三分の一に縮小され、米軍司令部のあった龍山基地（よんさんきち）は二〇〇四年にソウル市民からの激しい要請に屈して移転を余儀なくされている。

【548】

語り　フィリピンのクラーク空軍基地、スービック海軍基地は、一九九一年に全面返還された。

【549】

ミサキ　でも日本政府はお金を払ってでもアメリカにいてほしいんだよね……。

【550】

ヤヨイ　海兵隊はイラクやアフガン、東南アジア諸国への出張が多くて、沖縄をほとんど留守にしているのが現状なんですって。それで抑止力って、かなり疑問。

【551】

語り　日本の米軍駐留経費は、総額約三五〇〇億円。

【552】

語り　それとは別に思いやり予算一八八一億円。

【553】

語り　米軍の駐留経費負担額は世界堂々一位。

【554】

語り　二〇一〇年、政権交代後、民主党政権は今後一〇年間の日本の軍事力のあり方を示す新たな「防衛計画の大綱」を閣議決定。

【555】

語り　防衛を建前とした｢基盤的防衛力構想｣を改め、｢動的防衛力｣の構築へ方針を大転換。

【556】

ミサキ　「動的防衛力」って何？

【557】

ヤヨイ　……積極的に防衛するってことじゃないでしょうか。

【558】

ミサキ　新しすぎる。

【559】

語り　中国の軍事力の近代化・強化を｢地域・国際社会の懸念事項｣とし、軍事的に対抗する姿勢を打ち出したんです。

【560】

ヤヨイ　果ては武器輸出三原則の緩和か。

【561】

ミサキ　ん？　何それ。

【562】

語り　武器輸出三原則は、共産圏、紛争当事国、国連決議によって武器輸出を禁じられた国、これらへの武器輸出を禁じたもの。

【563】

語り　二〇一一年の新基準ではこの三原則を維持しつつ、米国や友好国との共同開発・生産への参加と「人道目的」や「平和構築」のための武器の輸出を可能にした。

【564】

語り　これにより、日本もアメリカを経由して、紛争当事国にでも武器を輸出できるようになった。

　　　　　　出演者、全員のため息。

●高江

虫の音。

【565】

ヤヨイ　私たちは高江に戻ってきた。

【566】

ピコ　お姉ちゃん！

【567】

ミサキ　リュウは？

【568】

ピコ　寝てるよ！　春になったら、遊ぶんだよ。

ヘリの轟音が聞こえる。

【569】

ミサキ　どうか、どうか、静かにしてください。リュウが目を覚まさないように、

【570】

ヤヨイ　お父さん、変なこと聞くようですが、座り込みしててよかったって思うことってあります？

【571】

お父さん　それは、やっぱりいろんな人と出会えたことだよね。こんなことがなかったら出会わなかった人たちと出会えたこと。俺、音楽をやってるでしょ。

【572】

ヤヨイ　はい。

【573】

お父さん　尊敬するボブ・マーリーが、民主党と共和党の議員を檀上で握手させたっていう事件があったのね。ジャマイカって、この二つの党はすんごい仲悪いのに。

【574】

ヤヨイ　おお。

【575】

お父さん　それから、ジョン・レノンがデモする人たちのために平和行進の歌を作ったり、Ｕ２がアフリカのチャリティーのために曲作ったり。どうしてそういうことできるのかなってそれが俺、わからなかったのね。それがロックの最大のクエスチョンだったの。

【576】

ヤヨイ　はい。

【577】

お父さん　でも、こんなことがあって、座り込むようになって、あ、わかったかもって思うようになった。俺のことなんだって。世界は自分のことだって。俺の目の前で起こっていることと同じことだ。自分のこととして考えられるようになった。その感覚がわかったことが、よかったって思うんだよね。

【578】

お母さん　私は最初も今も変わりなく自分の家で静かに暮らしたい。森の生き物たちも自分の森で静かに暮らせることが当たり前であって欲しい。いつ終わるとも知れない座り込み、先のことを考えると消耗します。あれこれ考えて何もしないより、今自分ができることをやろう。おかしいと思ったらおかしいって言おう。作られたくないから座ろう。一人じゃ無理ならみんなでやろう、簡単でいいんじゃないか、と思いました。

【579】

ミサキ　そして、私たちは高江をあとにした。

飛行機の音。

【580】

ミサキ　ご飯がおいしかった。雨が優しかった。空気が澄んでいた。人が面白かった。私は、これから高江の話を誰にするだろう。そのときは自分の言葉で話したい。見たものはちゃんと伝えよう。感じたことはちゃんと伝えよう。入れない場所なんてない。入っちゃいけない場所なんてない。ここで行き止まりって決めてたのは、ほかでもない私自身だった。

凄まじい轟音。

【581】

ピコ　うるさいいいいい！　おすぷれいー！

【582】

お母さん　うん。

【583】

ピコ　（風を受けて）くー！　負けないぞ……！

【584】

お母さん　ピコ、飛ばされちゃうね。

【585】

ピコ　お母さん、あのおすぷれい、くるくる回ってるよ。

【586】

お母さん　……おかしいね。

さらに凄まじい轟音。

【587】

お母さん　私（わったー）村から戦争が始まる。

【588】

おじい　私はこの景色を知っている。一九四五年四月一日、三時間に及ぶ十万発の猛烈な砲撃を加えた後、米軍は沖縄本土に上陸してきた。いったん戦争が始まると、私たちは自分たちが隠れていた防空壕を追われた。追うのは敵の弾丸だけではなかった。

【589】

おばあ　前川地区の壕に入れてもらおうとしたら日本の兵隊さんが、「早く出なさい、早く出なさい、出ないと殺すよ、手榴弾で殺すよ」といって、壕に入っている人を追い出しているんですよ。

【590】

おじい　日本陸軍の第三十二軍の兵隊がやってきて、隊長でしょうね、日本刀をさげていましたから指揮しているのであったでしょうが、「お前たちはこの壕から出ろ」といいました。出ろといわれましたので、「子供がかわいそうです。どうかここにいさせてください」と頼んだんですね。そうしたら、「君たちは死んでもいい、兵隊は一人でも死んだらどうするか、君たちの戦争ではないか、聞かなければ殺すぞ」といって、日本刀を抜いて私を殺そうと構えていたんですよ。それで、「ああ、そうですか」といって、わたしたちはみんな出ました。

【591】

おばあ　やっと入れた壕には兵隊と住民が二〇人ずつぐらいいてね。私に自宅から燃やすものを持ってくるように言ったんですよ。だが赤子は置いていけと言う。背中に背負った三男がギャーギャー泣いてましてね。この子を置いては絶対に行かないと私が言ったら、奥へ入れって言われて。奥で風邪を引いて喘息が出ている長女の介抱をしてたら、そのとき三男の泣き声が急に止んだんです。暗闇の中で顔を探ってみると、もう死んでいました。誰が！　誰が殺したんですか！　大声で怒鳴ったら、勘弁してください、誰が殺したか判らないし、もう仕方がないことだから、と中尉さんがいうんですよね。私は気が狂ったみたいにあんまり叫んだもんだから、中尉さんは怒ってですね、あんたも知っているでしょう、ここには四〇人余りもいるのに、その子一人のためにみんな死んでもいいんですか、とたしなめられてね。確かに、殺しているんですよ。

【592】

モリオカ　軍隊は市民を守らないんですよ。

【593】

語り　二〇〇九年、ウィキリークスが暴露した公電極秘文書には、日本とアメリカの軍事交渉の経過報告が記されている。

【595】

語り　もし沖縄や西日本の米軍基地や自衛隊基地が中国の弾道ミサイルで攻撃されたら、アメリカは空軍とミサイル部隊を米本土から送り込む。日本列島を戦場にしながら中国に立ち向かうという戦略。

【596】

お父さん　沖縄も含めた日本全土が、アメリカの戦争に巻き込まれるような状況が進んでいる。

【599】

語り　二〇一二年四月二八日、在日米軍再編見直し中間報告。

【600】

語り　グアム移転の海兵隊がもともと九〇〇〇人だったものが四〇〇〇人と約半分に減少したにもかかわらず、日本側の負担は二八億ドルと変わらない。その移転費で北マリアナ諸島などを日本の自衛隊との共同訓練場として整備するという。

【601】

伊波　沖縄の負担軽減のための予算枠を使い、負担軽減とは何の関係もないことをやろうとしている。

【602】

語り　さらに、ＯＤＡという名目で、途上国に武器を供与するとした新構想。

【603】

あや　一体この国はどこに向かおうとしているのでしょうか？ 二度と戦争をしないと誓った憲法を持ち、世界にそのメッセージを発信していける可能性を持ったこの国が、世界に武器を配り始めるなんて。軍事による経済発展に手を出した先は、アメリカのようにそれを回し続けるしかなくなるのではないでしょうか。

【603A】

お母さん　先日、Ｎ４テントの近くでオスプレイが飛んでいるのを見ました。もう、なんか、こんなにしゃあしゃあと飛ぶのかって……。五年以上、ずっと私たちはオスプレイの使用する着陸帯だと訴えて座り込みの抗議を続けて来ました。この五年間は何だったんだろう……。オスプレイが飛び始めてからすーごく気分が悪くなって、頭痛がひどくなってもう一時間もテントにいられませんでした。。これがオスプレイの低周波か、かなわないなあって思いました。

【603B】

イサ　県道をものすごい低空で横切っていました。え、もう、そこ？と思うぐらい近くに感じました。米国内の基準を適用すれば、こんなに自由に飛べるはずがない。がっかりしてばかりもいられないです。がっかりして何もしないでいたら、どんどんひどい状況になっていく。そうさせないためには、声を上げ続けていくしかないと思います。

【603C】

お父さん　オスプレイが高江で夜間演習していました。高江区を大きく周回しながら北部訓練場内の森上空で飛行機モード、ヘリモードに展開しながらメインゲート横のヘリパッドでタッチ＆ゴーしていました。低音が響く方を見ると夜空に浮かぶ緑の光ですぐに発見できました。

【603D】

ピコ　おっきな虫みたい。緑のわっかが二つついてる。あ、緑が赤に変わったよ！

【603E】

お父さん　振動で夜を切り裂いていくようでした。

【603F】

お母さん　もう、家にいてもうるさくてびっくりしました。あ、こんなにうるさいんだって。夜９時半のことです。

【603G】

お父さん　着陸時になぜかぞわっと寒気がしました。飛行場の横に住んでいるような状態に思えました。森の中なのに。

【603H】

ヤヨイ　どうして沖縄県や知事は「オスプレイに反対」しながら、高江のオスプレイパッドの工

事は進めるのでしょう。県は、沖縄防衛局に、高江の「環境アセス」は「再実施が必要」だと

要請したのに、どうして工事は中止しないんでしょうか。

【603I】

お父さん　知事も、東村も、高江のオスプレイパッド建設を容認している。北部訓練場過半の返還、負担軽減、という名目があるからですかね。

【603J】

ヤヨイ　でも、そこには犠牲になる暮らしがあります。

【603K】

お父さん　その暮らしは見えてないんじゃないかな。

轟音が遠のいていく。

【604】

ミサキ　今日も高江の人たちは座り込む。ただ、ただ、座り込む。静かに、おだやかに、暮らすために。そして、世界の果てで響く銃声を止めるのもきっと彼ら、と、私たちだ。

（スライド）

高江に建設予定の

米軍のヘリ着陸帯での

オスプレイの運用に関して

（スライド）

五年以上

住民達は問い続けてきたが

説明を得ることはなかった。

（スライド）

本年六月、
米軍普天間飛行場への
オスプレイ配備計画が
発表された。

 （スライド）

沖縄県内全域を飛び交う

飛行ルートや、

東村高江側の着陸帯での

運用が明記された。

（スライド）

高江周辺でのオスプレイ訓練は

地を這うような一五メートルの

低空飛行も予定されていた。

（スライド）

高江では現在も、

説明を求める住民の声は無視され

工事は進められている。

 （了）

【引用文献】

布施祐仁著　『日米密約　裁かれない米兵犯罪』（岩波書店）P3

黒澤亜里子編　『沖国大がアメリカに占領された日』（青土社）宮城晴美　P113、P 114、P117、P119、P120

文・浦島悦子　写真・石川真生　著　『シマが揺れる―沖縄・海辺の物語―』（高文研）P11、P40～45、P66、P78、P79

岩波ブックレットNO.444　アラン・ネルソン／國弘正雄著　『沖縄に基地はいらない』（岩波書店）P6、P13、P18、P19、P25、P26

藤原書店編集部編『「沖縄問題」とは何かー「琉球処分」から基地問題までー』（藤原書店）屋良朝博　P168～170

別冊歴史読本『沖縄戦記録』（新人物往来社）P105～108

けーし風　７５号　（２０１２年３月）Ｐ42

坂手洋二著　『普天間』（未来社）

坂手洋二著　『推進派』

ふぇみん（婦人民主新聞）　２０１１年５月５日号

環境総合研究所　2012年3月24日「米軍による沖縄県内における枯葉剤問題への適切な対応についての意見書」P2、P3、P7、P8

マガジン9　http://www.magazine9.jp/realpeace/04/index1.php

沖縄タイムス　2012年5月2日　<http://www.okinawatimes.co.jp/article/2012-05-02_33245/>

ＱＡＢ朝日放送制作　ＱＡＢ朝日放送制作　報道特別番組『枯れ葉剤を浴びた島』

検証　動かぬ基地vol.99 高江にあった「ベトナム村」とは　http://www.qab.co.jp/news/2011071229340.html

検証　動かぬ基地vol.107 オスプレイ配備　マスタープランの裏側　http://www.qab.co.jp/news/?s=%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%B

高江ブログ　http://takae.ti-da.net/